

IT アウトソーシングサービス市場に関する調査結果 2015

【調査要綱】

矢野経済研究所では、次の調査要綱にて国内の IT アウトソーシングサービス市場の調査を実施した。

1. 調査期間:2015年4月～8月
2. 調査対象:コンピューターメーカー、システムインテグレーター(SIer)、データセンター事業者等の IT アウトソーシングサービス提供事業者
3. 調査方法:当社専門研究員による直接面談、電話・Eメールによる取材、ならびに文献調査を併用

<IT アウトソーシングサービスとは>

IT アウトソーシングサービスとは、情報システムのハードウェアやソフトウェアの運用保守業務を代行するサービスのことを指す。本調査における IT アウトソーシングサービスとは、オンサイト運用保守サービス(ユーザー企業内にあるシステムの運用保守業務を代行するサービス)と、データセンター関連サービス(データセンター内に設置されたシステムの運用保守業務を代行するサービス)を対象とした。

【調査結果サマリー】

- ◆ 国内 IT アウトソーシング市場は 2013 年度から 2018 年度までの CAGR が 0.7% で推移し、
2018 年度の同市場規模は 3 兆 9,509 億円に成長すると予測

本年度から、調査対象にオンサイト運用保守サービスを新たに加え、データセンター関連サービスと合算し、IT アウトソーシングサービス市場規模を算出した。国内の IT アウトソーシング市場は 2013 年度から 2018 年度までの年平均成長率(CAGR)が 0.7% で推移し、2018 年度の同市場規模は、3 兆 9,509 億円(事業者売上高ベース)になると予測する。

- ◆ オンサイト運用保守サービスからデータセンター関連サービスへのシフトが進むと予測

IT アウトソーシングサービス全体として見た場合は微増の推移であるが、サービスのセグメント別に見た場合は、データセンター関連サービスの利用が増加しており、オンサイト運用保守サービスからデータセンター関連サービスへの切り替えやシフトが、ユーザー企業で進んでいる状況である。

データセンター関連サービスの利用が進んでいるのは、事業継続対策を目的に堅牢なデータセンターを利用する企業が増加していることや、企業が抱えるデータ量が年々増加しているために台数が増加したサーバーをデータセンターに預ける企業が増加していることなどが背景にある。

一方で、オンサイト運用保守サービス市場が縮小しているのは、クラウドコンピューティングの普及やデータセンター利用の進展により、オンサイトにサーバーを設置しない企業が増加していることが影響している。また IT 機器の単価の下落がオンサイト保守サービス料金を低下させていることや、仮想化技術の普及によりサーバーのみならずストレージ、ネットワーク機器までが統合されて IT 機器の台数が減少傾向にあることが、特にオンサイト保守サービスの利用を減少させている。

- ◆ 資料体裁

資料名:「IT アウトソーシング市場総覧 2015 ～オンサイト運用保守/データセンター/クラウド～」

発刊日:2015年8月31日

体裁:A4判 320頁

定価:150,000円(税別)

- ◆ 株式会社 矢野経済研究所

所在地:東京都中野区本町2-46-2 代表取締役:水越 孝

設立:1958年3月 年間レポート発刊:約250タイトル URL: <http://www.yano.co.jp/>

本件に関するお問合せ先(当社 HP から承っております <http://www.yano.co.jp/>)

(株)矢野経済研究所 マーケティング本部 広報チーム TEL:03-5371-6912 E-mail:press@yano.co.jp

本資料における著作権やその他本資料にかかる一切の権利は、株式会社矢野経済研究所に帰属します。
本資料内容を転載引用等されるにあたっては、上記広報チーム迄お問合せ下さい。

【 調査結果の概要 】

1. IT アウトソーシングサービス市場概況と予測

- 本年度から、調査対象にオンサイト運用保守サービス(ユーザー企業内にあるシステムのハードウェアやソフトウェアの運用保守業務を代行するサービス)を新たに加え、データセンター関連サービス(データセンター内に設置されたシステムのハードウェアやソフトウェアの運用保守業務を代行するサービス)と合算し、IT アウトソーシングサービス市場規模を算出した。また、データセンター関連サービスにはクラウドサービス(IaaS、PaaS、SaaS等)も含む。2014年度の国内のIT アウトソーシングサービス市場規模は、事業者売上高ベースで前年度比100.5%の3兆8,350億円であった。
- IT アウトソーシングサービス市場の2013年度から2018年度までの年平均成長率(CAGR)は0.7%で推移し、2018年度の同市場規模は、3兆9,509億円(事業者売上高ベース)になると予測する。

2. データセンター関連サービスの動向

データセンター関連サービスの利用が進んでいる理由としては、以下の7つの要因が挙げられる。

- 2011年の東日本大震災以降、事業継続対策を目的として、BCP(Business Continuity Plan:事業継続計画)を策定し、堅牢なデータセンターを利用するユーザー企業が増加している。
- 多様なアプリケーションや画像・映像データの使用機会が増加したことで、ユーザー企業が抱えるデータ量が年々増加している。そのため、台数が増加したサーバーをデータセンターに預ける企業が増加している。
- 企業経営に対する各種法規制の強化に伴い、企業に求められる情報管理の重要性が高まっている。それに対応して、セキュリティレベルと事業継続性の向上を目的とするとともに、複雑化したシステムマネジメントをSIer等のデータセンター事業者任せに任せるユーザー企業が増加している。
- 経営の効率化を目的として、間接部門である情報システム部門の要員の削減を進めてきたユーザー企業であるが、セキュリティ対応や事業継続対応など業務はむしろ拡大傾向にある。そのため、多くのユーザー企業の情報システム部門は外部のリソースに頼らざるを得ない状況に陥っており、データセンターを活用したIT アウトソーシングサービスの利用が進んでいる。
- ネットワーク経由のIT サービスであるクラウドコンピューティングの概念が普及したことで、ユーザー企業の意識が「所有」から「利用」へと変化していることも、外部のデータセンターを利用する企業を増加させている。
- ビックデータの活用が多方面で進んでおり、「データの集積」「あらゆるデータとの接続」「データの高速度処理」が必要になっているため、データセンターが活用されるケースが増加している。
- 企業にも環境対策として省電力化が求められるようになってきており、電力料金の高騰の影響もあり、データセンターにサーバーを集約し、省電力化を図るユーザー企業が増加している。

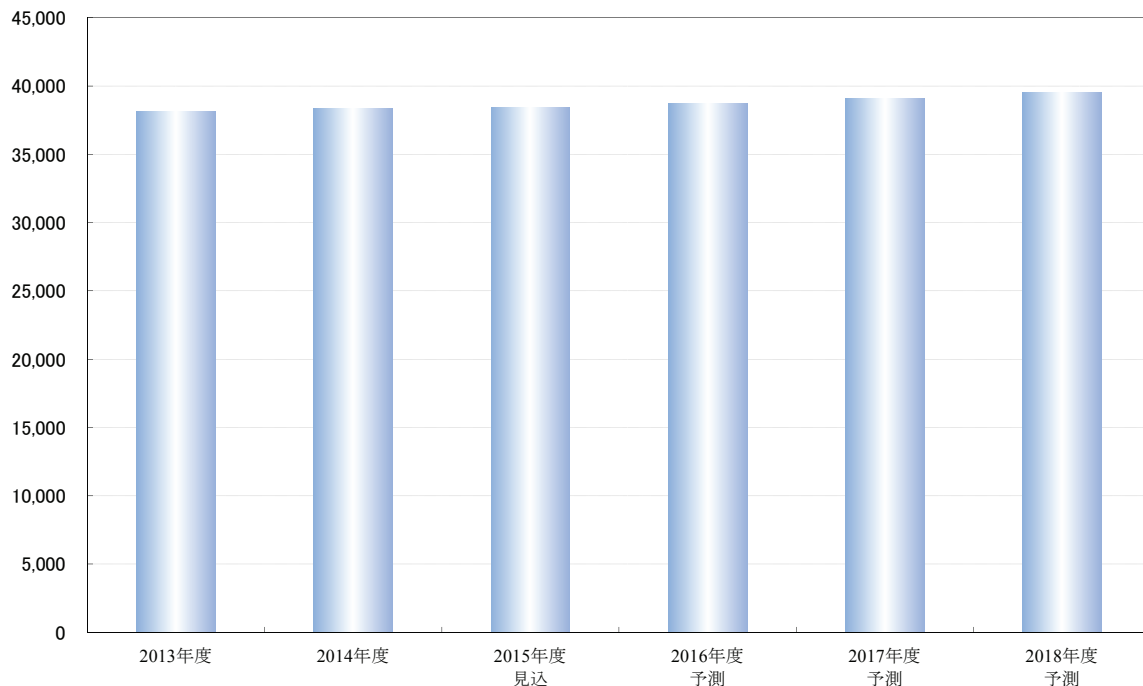
3. オンサイト運用保守サービスの動向

オンサイト運用保守サービスは、クラウドコンピューティングの普及やデータセンター利用の進展により、オンサイトにサーバーを設置しないユーザー企業が増加しているため、利用が減少している。また、これまでITアウトソーシング事業者のドル箱と言われてきた「オンサイト保守サービス」の市場規模の縮小が進んでいる。それは、IT機器の単価の下落がオンサイト保守サービス料金を低下させていることや、仮想化技術の普及によりサーバーのみならずストレージ、ネットワーク機器までが統合されて、IT機器の台数が減少傾向にあるためである。

このように、IT アウトソーシングサービス市場全体として見た場合は微増の推移であるが、サービスのセグメント別に見ると、ユーザー企業によるオンサイト運用保守サービスの利用が減少している一方で、クラウドサービスなども含めたデータセンター関連サービスの利用が増加している状況である。

図表1. IT アウトソーシングサービス市場規模推移と予測

(単位:億円)



(単位:億円)

	2013年度	2014年度	2015年度見込	2016年度予測	2017年度予測	2018年度予測
ITアウトソーシングサービス市場規模	38,141	38,350	38,434	38,705	39,063	39,509
前年度比	100.6%	100.5%	100.2%	100.7%	100.9%	101.1%
CAGR	—	0.5%	0.4%	0.5%	0.6%	0.7%

矢野経済研究所推計

注1: 事業者売上高ベース

注2: 2015年度は見込値、2016年度以降は予測値

注3: 本年度から、オンサイト運用保守サービス(ユーザー企業内にあるシステムのハードウェアやソフトウェアの運用保守業務を代行するサービス)を新たに加え、データセンター関連サービス(データセンター内に設置されたシステムのハードウェアやソフトウェアの運用保守業務を代行するサービス)と合算し、IT アウトソーシングサービス市場規模を算出した。

具体的には、オンサイト運用保守サービスとは、「オンサイトハードウェア運用サービス」、「オンサイトソフトウェア運用サービス」、「オンサイトハードウェア保守サービス」、「オンサイトソフトウェア保守サービス」の4つのサービスのことを指す。

また、データセンター関連サービスは、「ハウジング」、「ホスティング」、「データセンターハードウェア運用サービス」、「データセンターソフトウェア運用サービス」、「データセンターハードウェア保守サービス」、「データセンターソフトウェア保守サービス」、「IaaS (Infrastructure as a Service)」、「PaaS (Platform as a Service)」、「SaaS (Software as a Service)」の9つのサービスのことを指す。